

## タウンミーティング 聴きたい、話したい まちのこと

日 時 平成29年2月7日（火）午後7時～8時30分

場 所 亀久保西分館（亀久保西町会）

参加者 24人



### 主な意見等

参加者 三ヶ島住宅に住んでいますが、4メートル道路（私道）がありません。所有者で費用を負担し、簡易修繕を行って維持管理してきましたが、居住者が高齢となってきており、維持管理が難しくなっています。市道として採納するにはどうしたらよいのでしょうか。

市 長 幅員4メートル以上、行き止まりの道でも6軒以上が接道するなど一定の条件を満たせば、市に申請し、寄付採納が可能です。幅員が満たされていない場合は、後退するなどして、幅員を確保してもらう必要があります。また、私道の持ち分を持っている方々全ての同意が必要となります。道路課が窓口となりますので、課題があった時などにも相談に来ていただければと思います。

参加者 関越道から西側の地域について、公共下水道など開発が遅れていると言われますがどうなのでしょう。

市 長 公共下水道については、市街化調整区域では都市計画税が課税されていないという状況もあり、また、公共下水道の整備には、かなりの受益者負担もお願いするようになるので、なかなか進んでこなかったという実態もあります。旧市町の時代に、まちの全域で下水道の整備計画を作っていますが、市街化調整区域はなかなか進んでいない状況です。浄化槽の処理エリアとすれば、合併浄化槽の補助

金が使えるということもあります。公共下水道とした場合にどのくらいの受益者負担で整備が出来るのか皆さんにお示ししたうえで、公共下水道がよいのか、合併浄化槽がよいのか調整区域の皆さんのご意見を聞きながら、また、県とも協議しながら、処理の方法を決めていければいいと思っています。

参加者 都市計画税はどれくらいの額なのでしょう。

市長 土地の価格に応じて課税されます。

参加者 固定資産税はかなりの額になります。下水道使用料もかかってくるので、どちらが良いのかは判断できません。

参加者 住宅内にも浄化槽の人と汲み取りの人がいます。側溝に垂れ流しの人もいて、臭いなどで困っています。

市長 浄化槽の場合は、管理が必要となります。保守点検や定期的な浄化槽汚泥の汲み取りを行う必要があります。本年度、入間東部地区衛生組合の管理者を任されていますが、し尿処理人口が少なくなってきており、現在、し尿処理施設も小規模なものに造り替えています。様々な処理のあり方がある中で、税金を使って処理している訳で、どの様に公平に税金を使っていけるのかということが大事なところだと思います。

公共下水道の施設整備も、都市計画税だけで賄っている訳ではなく、行政負担もあります。市街化調整区域に下水道を整備した場合に、受益者負担がどれくらいかかるのか、それを皆さんが負担してもらえるのか、どう負担していくのかといった判断が必要です。

参加者 近くまで、公共下水道の本管が来ている地域もあるようですが。

市長 近くまで本管が来ても、新たなエリアを公共下水道の事業対象とするには、計画を立てた上で、事業認可が必要となってきます。

参加者 この地域は、雑木林や空地が多いです。公害が発生するような工場が建つことはないでしょうか。

市長 今のところそういった話は聞いていません。現在は、工場の建設であっても、環境基準が厳しいので、公害が発生するようなことはないのではないのでしょうか。市でも大野原地区で企業誘致を進めていますが、排水が必要なものは認めていません。

参加者 墓地の開発はどうでしょうか。過去に署名活動をして、反対した経緯があります。

市長 墓地の開発も規制しており、簡単には開発が出来ないようになっています。

参加者 三角小学校の放課後児童クラブの建て替えの計画はありますか。

市長 平成29年度予算に計上する予定です。当初は、現在のクラブを建て替える計画でしたが、接道の問題があり、校舎の余裕教室を活用して放課後児童クラブを整備する計画となっています。今のクラブを使いながら整備できます。

参加者 児童数が増えてきているが、教室を使ってしまって大丈夫でしょうか。

市長 教育委員会とも調整して計画しています。放課後児童クラブは、学校と離れた場所にあるクラブがいくつかありましたが、整備にあたっては校庭内に整備するようにしてきています。また、小中学校も計画的に改修整備してきています。

三角小学校の例で言いますと、大規模改造工事により、きれいに改修したら、周辺で滞っていた開発も進み、児童数が増えてきたという効果も出ました。

次の段階で、教室が足らなくなってくれば、違ったものを造っていくことになるのかもしれませんが、子どもたちの環境を早く良くしようということで、まず可能な限り早くできる方法で整備していくということです。

わが市は子どもが増えています。実は、市内でも教室が足りず、プレハブ校舎を造らなければならない学校も出てきています。子どもが増えれば、将来的には税収も増えていくことに繋がります。子

どもたちが増えて余計お金がかかっているのではないかという声もありますが、若い世代も増えており、若干税収は増えてきています。高齢の方を支えることが可能なまちになっています。就任直後から、子ども優先のまちづくりを進めれば、必ずまちは発展するという信念で行ってきましたが、ようやく政策効果が出てきました。

三角放課後児童クラブの整備については、教室が足りなくなるといううれしい悲鳴が出てきたときには、違った方法で整備していきます。

参加者 三角分館交差点の信号設置はどうなっていますか。通学路となっており、住宅も増え、保護者も心配しています。

市長 信号の設置は県の予算であり、市内でも要望している箇所が何十か所もあり、なかなか進んでいません。2市1町の東入間警察署管内で年に2か所の予算が付けばいい方と聞いています。

参加者 子どもたちを遊ばせる場所がありません。学校も、土曜日や日曜日には団体で使っており使えません。

市長 学校施設は、学校開放で校庭や体育館を使っています。学校開放だけで、校庭などを占領してしまってはしけないと思う。使える日や時間、エリアなどで調整するなど、工夫して使えばよいと思います。検討していきたいと思います。

参加者 公園は造れませんか。

市長 新たな公園は、なかなか造れません。三ヶ島緑地は利用されませんか。

参加者 場所が遠いし、夏は蚊も出ます。人目も届かないのであまり使いません。

参加者 関越自動車道路の下で県道が交差する三角交差点が渋滞してしまいます。狭山方面からの大型の右折車が多く、午後4時から6時まで車が動かなくなってしまう。道幅を広げて、右折車線を作ってもらえればよいのですが。

市長 三角交差点は、関越自動車道の橋脚があり、道路の拡幅が難しいと聞いています。

参加者 亀居銀座の埼玉りそな大井支店の交差点も、ケーズ電器やユニクロが出来れば更に渋滞がひどくなります。三芳スマートインターチェンジがフル化されれば、さらに影響が出てくると思います。

市長 三芳スマートインターチェンジのフル化に関しては、ふじみ野市も三芳町と国土交通省と一緒に対策を協議しています。多くの場所に影響が出ると思います。大井中学校の前の通りなども対策を講じなければなりません。

参加者 大井西中の脇に抜ける一方通行道路に大型車が通行して危険です。通学路にもなっているので、通行規制できないでしょうか。

市長 大型車の通行規制は難しいです。

参加者 空き家が多く、樹木が伸びて電線に掛かってきている場所も出てきており、対応に苦慮しています。

市長 市では、空き家対策班を設置し、対応しています。ふじみ野市は、空き家対策の条例をつくったのは早かったが、強制力がありませんでした。空き家等対策の推進に関する特別措置法ができたことで、空き家管理に対する強制力も強まりました。管理状態の悪い特定空き家に該当すれば固定資産税も高くなるなど、制度化されました。空き家対策の窓口は、危機管理防災課となっており、場所をお知らせいただければ、所有者に連絡して、対応を求めています。